



今後の市政運営について

柳田 光芳（公明党）



【陸も海も空も天草へつながる 交通アクセスの充実の取組について】

問 霧が出ていても電波で誘導し着陸させるILS（計器着陸装置）が天草空港には設置されていないが、代替の取組は。

答 人工衛星からのGPS信号や位置情報データを活用し、進入方向や降下角度のガイドを受けながら滑走路へ進入を行うLPV進入方式を導入している。現在、人工衛星7基中4基が運用可能となっており、令和7年度までに残り3基も打ち上げられる予定である。

問 天草空港の滑走路は1,500mは必要と考えるが延伸に向けての取組は。

答 滑走路延伸は、就航率向上だけでなく、本市の観光振興や市民の移動の利便性も向上することから、実現に向けて調査、研究を進めていく。



▲天草空港の滑走路（1,000m）

【災害に強い機能的なまちづくりについて】

問 井戸掘削事業は、他市事業者が参入している。現在の実施状況は。

答 令和6年度は、市内に対応可能な事業者がいないう状況であり、全国さく井協会九州支部の協力を得て事業を実施している。

問 掘削事業に従事していた方をアドバイザーとして配置する制度を検討できないか。

答 経験や知識を持った専門家にアドバイスをいただくことは、良い方策と考える。市内事業者の新規参入を推進するうえで、アドバイザー制度も含め検討していく。



海業の取組、水俣病早期解決に向けての本市の取組について

浜崎 義昭（日本共産党）



問 天草には他市では類を見ない豊富な魚介類が存在する。また、満潮時に旧牛深漁協市場内に潮が満ちる現象がある。これらを生かしたイベントや豊富な魚介類を利用した集客施設を造る必要があると思うが、総合交流施設等基本計画は漁業者の生業を中心にした計画になっているか。

答 現在作成中の基本計画では、総合交流施設の建設や民間活力の積極的な導入により、漁業者の所得向上につながる取組を推進していくこととしている。

問 水俣病が公式発見されてから69年、今も多くの水俣病患者が深刻な被害に苦しんでいる。

水俣病の早期解決は、熊本県や天草市において重要課題であり、被害者が高齢化する中で一刻の猶予もない状況である。本市の取組は。

答 不知火海沿岸地域を中心に影響を受けており、その被害者の救済は「対象地域」に限らず、国や県においても個別丁寧な審査が行われていると認識している。今後も国や県と連携し、関係する取組に協力したいと考えている。



▲特措法の地域外で救済された被害者の状況



教育無償化への責任と学校給食無償化、物価高騰の影響を受けた市民への生活支援について

蓼田 庸子（日本共産党）



【教育無償化への責任と学校給食無償化について】

問 学校給食費（賄材料費）の総額が一般会計予算に占める割合はいくらか。

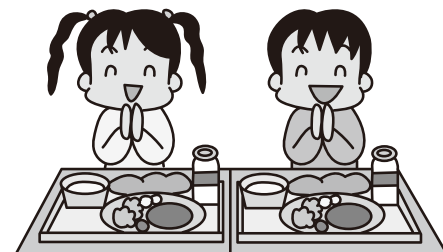
答 約0.53%である。

問 令和4年・5年の給食費未納者数は。現在の支援は十分であるか。

答 令和7年2月末現在で、令和4年度29人、令和5年度64人の未納がある。支援として、就学援助制度、児童手当の代理納付、生活保護の説明を行っている。

問 教育費の無償化を求める声は広がっている。本市の給食費無償化実現は。

答 国の方針に基づき全国一律に取り組むべきと考えている。



【物価高騰の影響を受けた市民への生活支援について】

問 生活支援の実施計画はあるか。

答 国が示すメニューに沿い、LPガス使用世帯価格高騰支援等を行う。

問 商品券発行による給付計画はあるのか。

答 計画はない。

問 事業者支援計画の内容は。

答 農畜水産業や中小企業など、9つの支援事業を予定している。

問 財政調整基金設置の目的、現在高はいくらか。

答 設置の目的は災害対策やその他の財源不足に備えた財源積立としている。残高は令和5年度決算で127億円。財政調整基金については事業の緊急性や必要性を見極めながら活用を図ってきたい。



馬場市政1期目の検証と2期目の展望について

五嶋 善彦（市民クラブ）



問 中村前市長から引き継いだ事業の達成度、馬場市政独自の事業の実績は。

答 重要施策であった「天草未来大橋」、「あましんスタジアム」、「御所浦恐竜の島博物館」等の完成を迎え、これらを最大限に生かしたまちづくりを進めている。また、独自施策としてIT産業の振興、関係企業の誘致、各種子育て支援策等を実施してきた。

問 馬場市政2期目にどのような天草を創ろうとされているのか。

答 来年3月には、天草市誕生から20年を迎える。少子高齢化の進展と人口減少、特に周辺地域においてその傾向が顕著であることから「天草版地方創生」をスローガンとし、5つの柱を軸に市民の皆様へマニフェストを示している。

問 マニフェストの重点事項は。

答 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくための移動手段として、AI乗合タクシーの導入を進める。また、あましんスタジアムを利用した来訪者の増加は、観光振興にも好影響があり、引き続きスポーツを通じ交流人口の拡大を目指す。また、「1次産業の振興なくして、天草の発展はない」との思いで、農林水産業の振興に全力で取り組む。さらに、職員と地域が一体となって、天草版地方創生に取り組んでいく。



▲日本パラ陸連の強化合宿（あましんスタジアム）